



発行所 聖隷学園 浜松市三方原3453 Tel(0534)36-5311

看護大学構想検討本格化

看護大学プロジェクト編成される

聖隷学園浜松衛生短期大学は数年前より看護大学を志向し、可能性を模索して...

二十一年世紀に向けて、社会の流...

「短大の将来構想を考へる」プロジェクトを発足させ、変化する社会のなかで、そのニーズに十分対応...

「短大の将来構想を考へる」プロジェクトを発足させ、変化する社会のなかで、そのニーズに十分対応...

あなたがたはわたしの友である。...あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである...

聖句

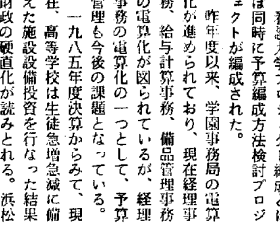
看護の知識向上に

昨年度の第一回に引き続き、今年度も浜松衛生短期大学において公開講座が開かれた...

公開講座の第一回に引き続き、今年度も浜松衛生短期大学において公開講座が開かれた...

「看護の知識向上に」おとしよりに喜ばれる介護教室

「看護の知識向上に」おとしよりに喜ばれる介護教室



公開講座の様子

聖書のことは わたしのいのちが何にかなるかを、誰が知っているか...

本年度高生連会長校を引き継ぐ

予算編成方法検討プロジェクト編成される

昭和六十一年度、浜松地区高等衛生学生連合会(略称、高生連)の会長校として重責を担うことになった...

予算編成方法検討プロジェクト編成される

予算編成方法検討プロジェクト編成される

予算編成方法検討プロジェクト編成される



名門清水東と熱戦をくりひろげた

本校では、昨年度よりスポーツ部活の強化に力を注いでいるが、徐々にその成果があらわれてきたようだ。サッカー部を筆頭に男子バレー、テニス、剣道などは、そろそろ県大会において好成績をあげている。創部二年目の硬式野球部も奮闘に実力をつけつつあり、今後の活躍が期待されている。

光るサッカー・テニス・剣道の活躍

ますます活気づくスポーツ部活

強化部活の対象になってきているのはサッカー部、男子バレー部、テニス部、剣道部、野球部である。近い将来、全国大会に出場できるような活躍が期待されている。

剣道部(女子)は五月に行われたインターハイ県西部地区予選で七位に残り、県大会では予選リーグを二位で通過し、決勝トーナメントに進んだ。決勝トーナメントでは優勝した磐田北高校(東海四県大会でも優勝)に敗れたが、ベスト16に残った。剣道も西部地区のレベルが高く、ベスト8の内5校までが西部勢が占めた。

男子バレーは剣道と同様に西部地区が圧倒的に強く、今回インターハイ予選もベスト4の内、3校まで西部勢が占めた。今回、西部地区予選を9位で通過し、ベスト16をかけて伊豆中央高校(ベスト8まで進出)と対戦したが惜しくも敗れた。他の部活とともに今後もその活躍が期待されている。

野球部は創部二年目を迎え、部員も増えますます活気づいている。夏の県予選で伊豆中央高校と対戦し善戦した。一対七で敗れたが若々な成長をうけている。これらの活躍に刺激され、学校全体も活気づいてきた今日この頃である。

昭和62年度教育課程に「コンピュータ」を、という考え方はもう少し時間をかけて検討することになった。実はこの「コンピュータ」は、社会に対する我々のとまどいを象徴しているのではないかと私は考える。

我々をとりまく社会の変動はものすごい。その加速的要素の一つがコンピュータである。学校がこれに無関心であることは、すでに許されなくなっている。

コンピュータを単なる計算機の延長線上に捕まえて論議しない。この時点で教職員の意識改革が求められる。

変動する社会に生徒を送り出す学校もその社会の要素の一つに過ぎない。(学校及び教職員は、その職務の性格上、この点で案外保守的であることが多い)この点から、どんな形で社会の責任を担うか、考えてみたい。このように心づいて、コンピュータ教育に乗りこえる検討を今後続けてみたい。

第5回キヤマス生来日

第1回 W.F.ウエスト生も来日

7月21日より16日間にわたり滞在

今年度、国際交流として、まず国際コース生二十五名を三月姉妹校キヤマス高校へ送った。この第六回米国研修旅行で特許されるのは、同じワシントン州シエラヘリスにあるW.F.ウエスト高校を訪問したことがある。ここに昨年八月より生徒二名が留学して、本校との友好関係が強まっている。今夏七月二十一日より八月五日までキヤマス高校生を迎える。これと一緒にW.F.ウエスト高校からも高校生と教員及び校長夫妻を迎える。総勢二十七名になる。主な受け入れ計画として、東京見学(歌舞伎見学など)、京都見学、浜松への浜松ホテルニクスや鈴木自動車見学、弁天島一泊合宿(新居

手筒火目習や地引網漁など)などがある。そのほか本校生と近隣の中学生との交流やホストファミリーとの多彩な交流が予定されている。長期留学としては、先の二校とエマラ高校に五名の留学生を送っている。今年度も五名の一年間留学生を送ることに選挙も終った。姉妹校からの本校への一年間留学生も今年、名目定まれている。このほか細江町訪問のキヤマス市民との交流、二十周年記念事業の一として父母の会、後援会卒業生、短大生、教職員による姉妹校訪問があったし、さまざまなレベルでの相互訪問が数回増している。またアジア学院(東南アジア農村指導者養成所)のアジアアフリカ地域の留学生の定期的な本校訪問や、本校生によるA・H・I(アジア保健研修所)への国際理解を深める研修などがある。

文化祭盛況裏に閉幕「時」時代をみつめて

聖高祭は六月二日(土)、あじいにくの小規模の中だったが、多数の入場者によって盛大に催された。今回は「時」時代をみつめてのテーマのもとでさまざまな試みがなされた。一年生は教室をのインターハイ予選でもベスト16のうち、10校までが西部地区の学校が占めている。インターハイ予選では、ベスト4まで勝ち進んだ。掛川西高校に惜敗したものの、ベスト16に名を連ねた。

出で学年全体の模倣店、聖高祭「春豆秋冬」をテーマに、戦争と平和、で各クラスが時代別に発表発表した。また文化祭部活の発表の質が年々上がってきた。その発表の招待試も企画され、一方では充実した文化祭になってきた。それ以外にも、カラオケ大会が盛大況のうちにフィナーレを飾った。準備にあたっては、一月から生徒会四月から文化祭実行委員会有志が活動を開始し、生徒連による文化祭というムードが色濃くなってきています。このムード多くの反省をもとに、今年以上の文化祭を来年は確信している。

キヤマスはいま Part2

Table with columns for school names and student numbers. Includes data for 1986 admission test results and student numbers for various schools.

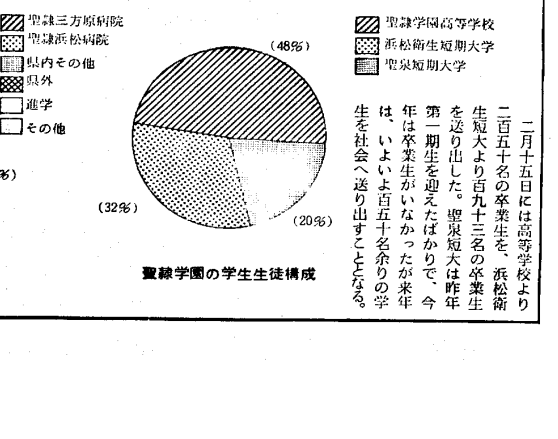


Table showing the distribution of students from various schools. Columns include school names and student numbers.

Table showing the distribution of graduates from various schools. Columns include school names and graduate numbers.

Table showing the distribution of graduates from various schools. Columns include school names and graduate numbers.

Table showing the results of a national trial exam. Columns include subject, number of candidates, number of合格者, and pass rate.

Table showing the number of teachers at various schools. Columns include school names and teacher counts.

成果をあげる 実習 実習検討会

現状を見直し、期待する看護者育成

臨床実習の様々な課題を重点的に検討するために昨年四月に実習検討会が発足したことは前号にて報告させていただいたが、今回はこの実習検討会において検討されたことを中心にお知らせする。同検討会では、段階別実習の現状を見直し、基礎看護教育の卒業時点で期待する看護者を育てるための方法をテーマとして検討が重ねられている。



今日も真剣な実習が続く。

本学にとって、臨床実習をいかにすすめていくかは、日常的に大きな課題である。看護を必要とする場の状況変化、教育を受ける学生の多様化をふまえて、500余名の学生数、1科と2科との併設と言った物理的制約の中、教師の創意と熱意を軸に、主として聖隷両病院の生きた場と、そこで働く多くの方々の協力的な受け入れを軸に、実習がなされている事を、今改めて考えさせられている。前号報告した看護学実習検討会を中心に臨床実習の課題と対策について述べたい。昨年発足したこの検討会は、この月14回の協議を終えた。多忙な方々の参加であったが、その根柢には、ひとへにより良い後輩となる看護者を育てたいということがあったと思う。両病院で働く看護者の大半が、この学卒を巣立った者である現実はある。しかも臨床看護を担うのは、少くとも認識が検討会メンバーの基礎になり、立場の異なる両者による事柄の発展的な検討がなされて来たことを評価したい。そこで、この一年間の看護学実習検討会の経過を報告する。

1. 卒業時点の学生をみて、看護過程展開が、理論・実践共に理解不十分な者が多い。
2. 職業人としての構えが不足している。
3. チームメンバーとしての役割がわかっていない。

要であるとの見解に達した。この結果をもとに学内組織において、今後の詰めを行うこととした。
2. 基礎看護技術の必要最少項目の選定と到達標準の検討
日常生活への援助技術6項目を選定したが、これらを、どのように実習場で用い、卒業に導くか、今後の課題となっている。
3. 職業人としての感性を育てるために、私達は何をすべきか。
意見交換を行った結果、大変難しい事ではあるが、学内・外問わず、看護者としての心構えを喚起する事が大切であり、訓練して身につく事柄については、積極的に関係者が、関わっていかうという意見がだされた。

4. 実習指導に関する両者の基本的役割について、統一見解を持つこととして、統一文庫を用いて抄訳会をもつ。以上が一年の話し合いの内容の概要である。メンバーとあって一年が過ぎた。短大と両病院がより質の高い看護者を育てるために、お互いの意見交換の場であった。

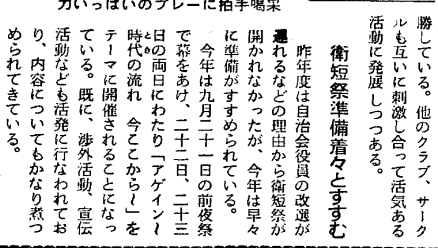
3. 臨床側と短大側の実習指導上の基本的役割を検討し、連携と協力を強化する必要がある。
以上1-3の問題抽出がなされた検討の第一段階として段階別実習の目的、目標に沿って見直しの作業（具体的検討内容について）
1. 段階別実習の見直し
実習要項全体を見て、特に3段階実習の検討に主眼を置く事が必須と、教的に目立つことある。

のだから、聖隷短大の卒業生はできない、態度がなっていないと、耳にする度に、私も又、卒業生一人として怒りを憶える。それは、よく学ばなかった後輩者に対する怒り、一人一人をみて、一人一人として評価しない、自分を含めての臨床側への怒りである。そのために、私は与えられたこの実習検討会の場を重く受けとめたいし、一朝一夕には、改善変化の求められるものではないが、聖隷短大と両病院との関係を考えて、協働者として、一体となつて、学生と関わっていかなければならぬのであるから、検討会の運営は遅延したものであっても継続していくことに、大きな意味があると考えている。

クラブ・サークル活動活発化

衛短祭の準備着々すすむ

今年の秋衛生短大は例年になく、学生の自主性が随所に見られ、サークル活動・クラブ活動も盛り上がりつつある様子である。
バレエ部、琴部、茶道部、バレー部(聖隷研究会)、手話クラブ、ナマス、テニス部などは従来から地道な活動を続けていたが、今年には聖歌隊、バスケットボール、学生と関わっていかなければならぬのであるから、検討会の運営は遅延したものであっても継続していくことに、大きな意味があると考えている。



力いっぱいプレーに拍手喝采

所属し活躍している。又毎年五月に開かれている静岡聖隷地区の六つの看護学校(六看護)のバレーボール大会で、今年はバレエ部の参加で圧倒的な強さを発揮し優勝に発展しつつある。
衛生短祭準備着々すすむ
昨年度は自治会役員が改選が選ばれるなどの理由から衛生短祭が開かれなかったが、今年は早々に準備がすすめられている。
準備がすすめられている。昨年度は自治会役員が改選が選ばれるなどの理由から衛生短祭が開かれなかったが、今年は早々に準備がすすめられている。
準備がすすめられている。昨年度は自治会役員が改選が選ばれるなどの理由から衛生短祭が開かれなかったが、今年は早々に準備がすすめられている。

就職活動いよいよ始まる

海外研修も本格化

就職活動状況
早いもので、もう来年三月には第一回の卒業生を送り出すことになるのであるが、これらの卒業予定者のうち約九〇％が就職を希望している。
学生の就職活動指導については、既に開学の年度に英語科、商経科あわせて七名の教員による就職委員会を設置し、進路教授が委員長に選ばれた。
さて、就職委員会が最初にとりくんだのは六月十一月に開催した。一回就職ガイダンスであった。同時に第一次就職希望調査も行い、学生の就職意識の把握を把握した。
本年度の就職をとりまく経済環境は四角相場を背景として厳しいものがある。さらに、いわゆる就職協定で学生と会社の接触解禁日が四年制大学より短期大学が四月日遅れていること、本年四月施行の男女雇用機会均等法が採用にどのような影響を与えるかなどの問題がからんでくる。

海外研修
こととはじめ
このはじめはホスマン教授の熱意であった。去年開学して間もない頃、学生のために海外研修の機会を作りたいといったひと言葉を聞いた。また学生は、先輩がいないために就職についての予備知識が乏しい。それゆえにできるだけ十分な就職情報を提供するよう全力をあげて取り組んでいる。
最近の採用では求職者の人間像が採用決定のポイントになっている傾向が強いようである。それに照準をあわけているのか、多くの短期大学が例えば人間学でいうべき趣意の特別講座をカリキュラムのなかでとらえている。あるいは直接就職ガイダンスとしてカリキュラムに組みこみ、そのなかでどういった問題にふれられるかの傾向も明らかになっている。

自由参加を認めただけだが、行った学生たちの感激は大きく、海の向うからもお褒めをいただいた。今年正式にということで、教授に諮った上、休暇旅行の途上セラムを訪れ、SEIREIで実習と実習を取り交わした。(写真)
海外研修は今後ますます重要性を増すと思われるので、そのための委員会をつくり各科から代表に選んでいただいた。委員はホスマン、木田英語科長を委嘱した。
この夏オレゴン州を希望する学生は三九名あったが、話し合いによって三〇名がえらばれ、五月末から出発までの七週間、ホスマン教授夫妻が特別をつけておられる。ささやかという言葉が人間の姿をして現れたような感激の光景である。
この研修旅行にはホスマン教授夫妻と、更に赤井伸之講師も同行して下さる。安心して同時に大きな成果を期待する。
海外研修はこれからますます発展するにちがいない。既に現在、他大学や信頼できる旅行会社の企画に応募する学生も多く、本学のスタッフも同行するものも数見する。(学長・伊藤規矩臣)

「病院側」
杉本氏、近藤千恵子、岩瀬浩代、安岡富貴子、杉山千代、藤原清恵「学校側」
古橋秀、早田キヨ子、千葉ヒ子、久保みさほ、堀口直子、和田博子、深谷志通子、影山雅子



海外研修 こととはじめ

この研修旅行にはホスマン教授夫妻と、更に赤井伸之講師も同行して下さる。安心して同時に大きな成果を期待する。
海外研修はこれからますます発展するにちがいない。既に現在、他大学や信頼できる旅行会社の企画に応募する学生も多く、本学のスタッフも同行するものも数見する。(学長・伊藤規矩臣)

消費収支計算書

自 1985年4月1日
至 1986年3月31日
(単位:千円)

Table with columns for '科目', '法人', '聖泉短大', '衛生短大', '聖隷高校', '計', '科目', '法人', '聖泉短大', '衛生短大', '聖隷高校', '計'. It details financial transactions for 1985.

消費収支予算書

自 1986年4月1日
至 1987年3月31日
(単位:千円)

Table with columns for '科目', '法人', '聖泉短大', '衛生短大', '聖隷高校', '計', '科目', '法人', '聖泉短大', '衛生短大', '聖隷高校', '計'. It details financial transactions for 1986.

85年度決算'86年度予算まとまる
本年度も厳しい財政変らず
85年度は創立20周年記念事業が行われた記念すべき年であった。

消費収支計算書
85年度は創立20周年記念事業が行われた記念すべき年であった。一方高校生の急増3年目に定員増の認可があり生徒数が増した年でもあった。財政的にも次第に膨張する過程にあることを考え、慎重な学園運営が求められた年度であった。以下に決算の状況について主要な点をとり上げて説明する。金額の単位は千円

聖隷学園浜松衛生短期大学 (推薦入学試験)

Table with columns for '出願資格', '出願期間', '試験科目', '合格発表', '入学手続期間'. Details admission requirements for the 1986 exam.

聖隷学園聖泉短期大学 (推薦入学試験)

Table with columns for '推薦要件', '出願期間', '試験科目', '合格発表', '入学手続期間'. Details admission requirements for the 1986 exam.

聖隷学園浜松衛生短期大学 聖隷学園聖泉短期大学

1986年度入試要項まとまる

両短期大学の来年度入試の要項がこれとまとまりました。
浜松衛生短大においては昨年同様、第一衛生看護学科・第二衛生看護学科とも推薦入学試験と一般入学試験が行なわれる。

※第二衛生看護学科の社会人入学試験について (入学の約10%の予定)
出願資格 ①23才以上の者 ②准看護士(士)の経験3年以上の者 ③所属長の推薦がある者

お問い合わせ先
聖隷学園浜松衛生短期大学入試係 〒433 浜松市三方原町 3453 (電話0534-36-5311)
聖隷学園聖泉短期大学入試係 〒521-11 彦根市肥田町720番地 (電話0749-43-3600)

永年勤続表彰受賞者
今年度、次の方々が五月二十九日の教職員会議において永年勤続表彰を受けられました。
勤続二十年: 吉田 潤(高校)、大塚 浄子(高校)、安間 典子(事務局)
勤続十五年: 近藤 房武(高校)、和田 賢一(高校)
勤続十年: 杉山 喜代子(短大)、佐藤 稔(高校)、浅井 昭裕(事務局)、清水 孝俊(事務局)

福祉医療ヘルパー学園秋季生募集

- ▲募集人員 秋季生(10月~3月)/20名(男女共学)
▲志願資格 ①高等学校卒業(見込)したもの。②その他、学園長が適当と認めたもの。
▲出願手続 ①入学願書(本学所定の用紙) ②最終出身学校調査書または、成績証明書 ③写真2枚
▲お問い合わせ 〒433 浜松市三方原町 3453 TEL 0534(36)5311

Table with columns for '願書受付期間', '試験日', '試験科目', '合格発表', '入学手続', '入学式'. Details for the 1986 exam.

教職員人事
退職: 山本 伸一(教諭(英語))/三月三十一日付
三ツ矢 知子(教諭(国語))/三月三十一日付
池端 徹夫(教諭(理科))/三月三十一日付
リチャード・マクリン/専任講師/四月三十日付
衛生短大: 清水 二郎(教授(キリスト教))/三月三十一日付
瀨上 豊子(教授(総論研究室))/三月三十一日付
金兵 忠雄(教授(基礎専門))/三月三十一日付
城ヶ端 初子(助教(総論研究室))/三月三十一日付
藤野 正之(講師(物理学・統計学))/三月三十一日付
新居 君子(助手(成人研究室))/三月三十一日付
事務局: 大塚 千恵子(第一みきわ寮寮母)/三月三十一日付
鈴木 美吉(経営事務課(職能課))/三月三十一日付
廣川 和子(経営事務課)/三月三十一日付
原田 敦代(教育事務課)/三月三十一日付
加藤 玲子(図書館司書)/三月三十一日付

学園散策
▼ワードプロセッサ3台、パソコン4台、オフコン1台、現在これだけのコンピュータが浜松で利用されている。
▼コンピュータの急速な普及は、信じられない速さで進み、技術は考えられないほど高度化している。一方では、OA環境下で働く者の影響がいろいろとあげられている。直接的因果関係は今の明確にされていないのは不思議な気もするが、女性労働者の流産や奇形児出産の確率が高くなること、眼精疲労、肩こり、けんしょう炎など様々な障害の事例が報告されている。また技術革新の担い手であるシステムエンジニア技術者は、この急速な変化に順応できず、取り残される不安から精神的に不安定な状態に陥っている。アメリカのコンピュータ開発の基地シリコンバレーでは麻薬に溺れる技術者がかなり多くもなっているようだ。技術をいくら進歩させることができた人間は進歩できないのだ。
▼今後、学校の中にも様々な形でコンピュータが導入され、利用されるのがあたりまえの時代が来ると思ふ。よく言われることだが、コンピュータは偉大な馬車であり、それを使う人間の能力以上の力を発揮してくれれば、機械である。ハードの価格が下がると、導入しやすくなる。導入の目的、目標、弊害に對しては慎重に検討する眼が必要だ。